

# OJI 中間期のご報告

2015年4月1日～2015年9月30日

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
第92期第2四半期連結累計期間(2015年4月1日から2015年9月30日、以下、「中間期」)の概要をご報告申し上げます。

なお、中間配当金につきましては、前年同期と同じく1株につき5円と決定させていただきましたので、あわせてご報告申し上げます。

2015年11月

王子ホールディングス株式会社  
代表取締役社長

矢嶋 進

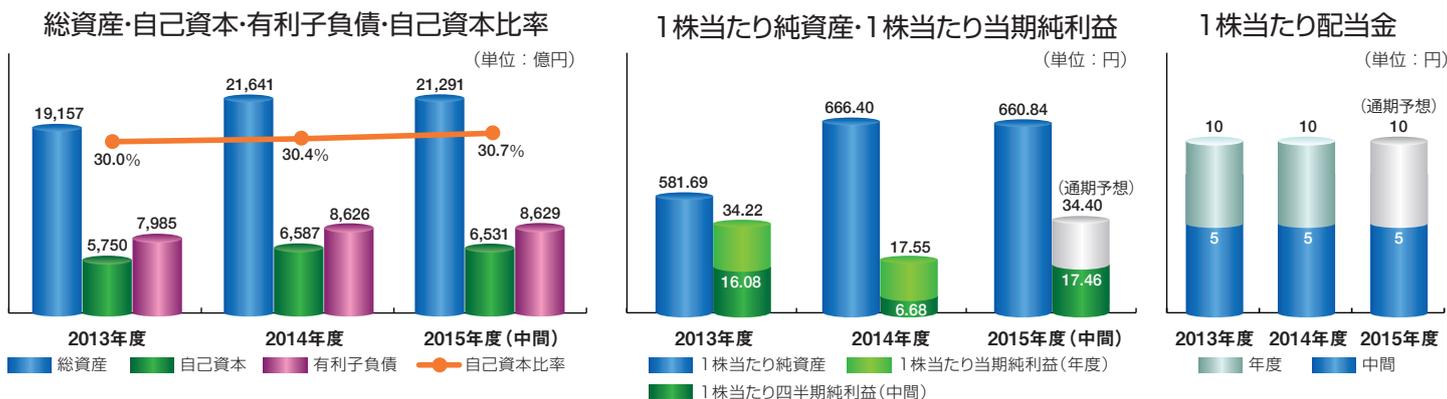
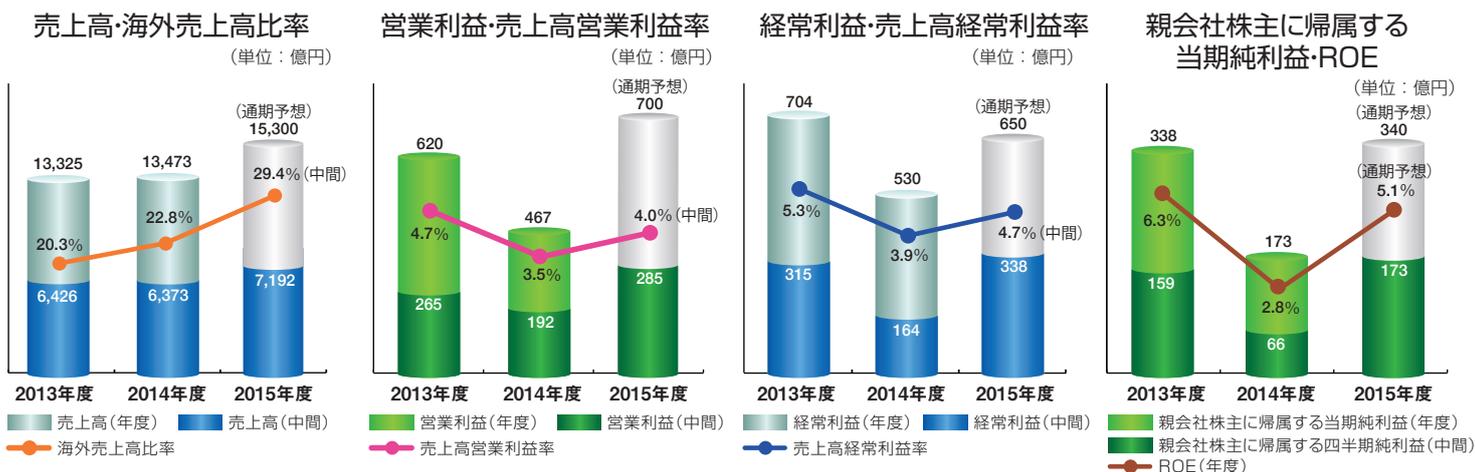


## 中間期の連結業績ハイライト

|                  |         |       |         |
|------------------|---------|-------|---------|
| 売上高              | 7,192億円 | 前年同期比 | 12.9%増  |
| 営業利益             | 285億円   | 前年同期比 | 47.9%増  |
| 経常利益             | 338億円   | 前年同期比 | 106.3%増 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 173億円   | 前年同期比 | 161.3%増 |

## 連結業績等の推移

(注)2015年度通期予想は第2四半期決算短信発表(2015年11月10日)時点のものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



## 中間期のセグメント別の営業の状況

### 生活産業資材

段ボール原紙・加工、白板紙・包装用紙、紙器・製袋、家庭紙、紙おむつ

#### 売上高

3,009億円  
(前年同期比)  
12.6%増



#### 営業利益

71億円  
(前年同期比)  
46.4%増



国内事業では、段ボール原紙の販売量は、前年に対し、輸出は増加しましたが、国内向けは加工食品向け等が低調に推移し、国内・輸出合計では減少しました。段ボール加工は、飲料・青果物関係等が堅調に推移し、販売量は増加しました。家庭紙は、ティッシュペーパー、トイレットロールともに販売量は増加しました。紙おむつは、子供用はリニューアル品の好調等により販売量は大幅に増加し、大人用も増加しました。

海外事業では、主要な事業展開地域である東南アジアにおいて、段ボール原紙の販売量は堅調に推移し、段ボール加工の販売量も飲料・加工食品関連を中心に堅調に推移しました。また、前年第3四半期に買収により連結子会社化したCHHPP社(現Oji Fibre Solutions)が対前年増収に寄与しました。



生活産業資材製品群

### 機能材

特殊紙、感熱紙、粘着、フィルム

#### 売上高

1,090億円  
(前年同期比)  
0.2%増



#### 営業利益

58億円  
(前年同期比)  
22.8%増



特殊紙の国内販売量は、新製品開発・新規顧客開拓に注力し拡販を進めましたが、一部事業から撤退した影響等があり、前年に対し減少しました。輸出版売量は、前年並みに推移しました。感熱紙の国内販売量は、堅調に推移しました。

海外事業では、感熱紙の販売量は、北米では減少しましたが、欧州・南米においては増加しました。



感熱製品



メディカル製品

### 資源環境ビジネス

木材、パルプ、エネルギー

#### 売上高

1,358億円  
(前年同期比)  
44.2%増



#### 営業利益

125億円  
(前年同期比)  
96.9%増



国内事業では、レーヨン用途パルプの販売量は、輸出向けが好調であり、前年に対し増加しました。また、第1四半期から宮崎県日南市においてバイオマスボイラによる売電を開始し、北海道ニセコ町においては、水力発電設備リフレッシュ工事が完了したことにより、売電量が増加しました。

海外事業では、パルプ販売量は、2015年1月より江蘇王子製紙有限公司でパルプ製造設備の営業運転を開始したこと、また、前年第3四半期に買収により連結子会社化したCHHPP社(現Oji Fibre Solutions)の寄与により、前年に対し大幅に増加しました。



ベトナム植林ユーカリ合板製造工場

### 印刷情報メディア

新聞用紙、印刷・出版・情報用紙

#### 売上高

1,535億円  
(前年同期比)  
1.3%増



#### 営業利益

△12億円  
(前年同期比)  
—



新聞用紙は、発行部数減の影響等により、前年に対し販売量は減少しました。印刷・情報用紙は、需要減の影響等により販売量は前年に対し減少するも、売上高は価格修正効果によりほぼ前年並みとなりました。



書籍本文用紙

### その他

不動産、機械、商事 他

#### 売上高

1,336億円  
(前年同期比)  
1.4%増



#### 営業利益

35億円  
(前年同期比)  
13.0%減



(注)セグメント別の売上高および営業利益構成比(%)は、調整額(内部取引に関わる調整額など)を除いて計算しています。

# トピックス

## 拡大を続ける海外事業

生活産業資材、機能材、資源環境ビジネス等、幅広い分野で海外事業展開を図っています。海外売上高比率は今年度約30%に達する見通しで、今後もさらに高めていきます。

段ボール加工では2015年5月にミャンマーで新工場が稼働し、2015年12月にはインド、2016年1月にはベトナムで新工場の稼働を予定しています。木材加工においては2015年4月にベトナムで新工場が稼働し、ミャンマーでは2015年10月から新工場の試運転を開始しました。また、マレーシアでは子供用紙おむつの新工場建設を進めています。



ミャンマー段ボール加工新工場

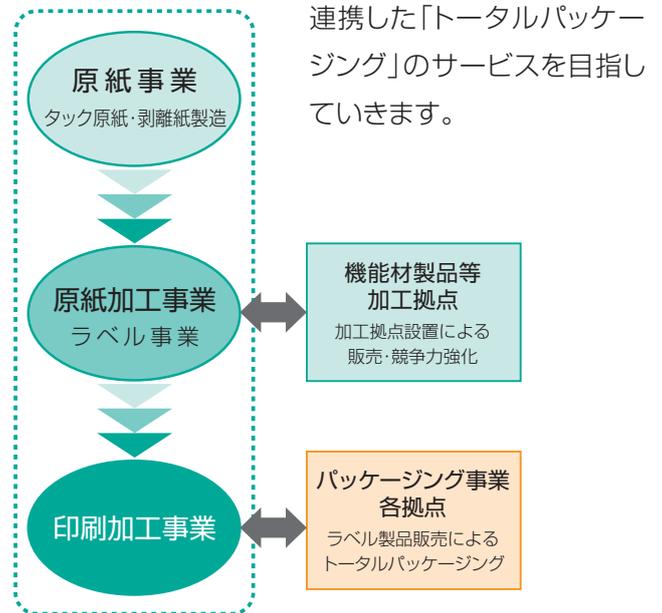


建設中のマレーシア子供用紙おむつ新工場

機能材分野においては、マレーシアにあるラベル印刷製品や紙器、パンフレット等の印刷・加工製品を製造販売するHyper-Region Labels Sdn Bhdおよびその関連会社の株式の60%を取得することを決定しました。

経済成長著しい東南アジア地域において、粘着ラベル分野ではOJI LABEL (THAILAND) Ltd.で粘着原紙製造事業を行っていますが、今回の株式取得により印刷加工分野にまで事業領域を広げていく体制が整うこととなります。

今後、原紙事業と印刷加工事業およびその橋渡しに当たる原紙加工事業も含め、積極的に事業展開を進めます。また、すでに同地域に広く展開するパッケージング事業と



## 国内事業強化への取り組み

国内では既存の設備と技術を活用したビジネスを加速しています。

パルプ事業においては、バイオマス由来の各種化成品原料や次世代プラスチック原料として期待されている、フルフルールの早期事業化に取り組んでいます。

エネルギー事業においては、電力小売の全面自由化も見据え、電力販売事業の合併会社を設立したほか、2015年度に稼働する2台のバイオマス発電設備、現在工事を進めている既存の水力発電設備のリフレッシュにより、事業拡大を図っています。

また、2015年5月には中越パルプ工業株式会社を持分法適用会社とするとともに、同社との間で業務提携に関する

契約を締結しました。既に輸入チップの共同調達に関する合併会社、高級白板紙の生産に関する合併会社を設立しており、今後も同社との業務提携の範囲を広げ、企業価値向上に向けた取り組みを進めていきます。



王子グリーンエナジー日南 バイオマス発電所

## 植物由来の次世代高性能素材を開発

次期中核事業の発掘を目指して、様々な研究開発活動に取り組んでいます。

中でも木質繊維をナノメートルのレベルまで細かく微細化したセルロースナノファイバーは、透明性が高く、硬くて丈夫、熱による変形が少ない等の優れた特性を兼ね備えた素材として注目されており、透明なプラスチックの補強材、増粘・分散剤、ガスバリアフィルム、有機ELディスプレイのフレキシブル基盤等、様々な分野での利用が期待されています。植物由来であることから、環境負荷が小さく、リサイクル性に優れた素材でもあります。当社は、世界に先駆けてセルロースナノ

ファイバーの連続透明シート化やウェットパウダー化に成功しており、今後は世界各国に広くサンプルの提供を行うとともに、用途開発に向けて様々な業界企業と共同開発を進めていきます。



セルロースナノファイバーの連続透明シート



ウェットパウダー状セルロースナノファイバー

## 王子硬式野球部 都市対抗野球でベスト4進出!

王子製紙春日井工場を拠点とする王子硬式野球部は、7月18日から東京ドームで開催された都市対抗野球本選に2年ぶりの出場を果たし、準優勝した2008年以来7年ぶりとなるベスト4進出を果たしました。

選手たちが試合ごとに成長しチーム一丸となって闘う姿はスタンドにも伝わり、応援に駆け付けてくださった方々をはじめ、王子グループに関係する人々が一体となって熱い声援を送りました。

2004年以来となる優勝を来年こそ果たすべく、チームは精進を重ねています。引き続き皆様からのご支援をよろしくお願いたします。



主力として活躍した船越涼太捕手(写真左)と西川龍馬内野手(写真右)はプロ野球ドラフト会議において、広島東洋カープから指名を受けました。今後のさらなる活躍を期待しています。

### 株式の状況

(2015年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 2,400,000,000株
- 発行済株式の総数 1,064,381,817株  
(うち自己株式 (74,698,556株))
- 株主数 66,316名  
(前期末比 3,437名減)

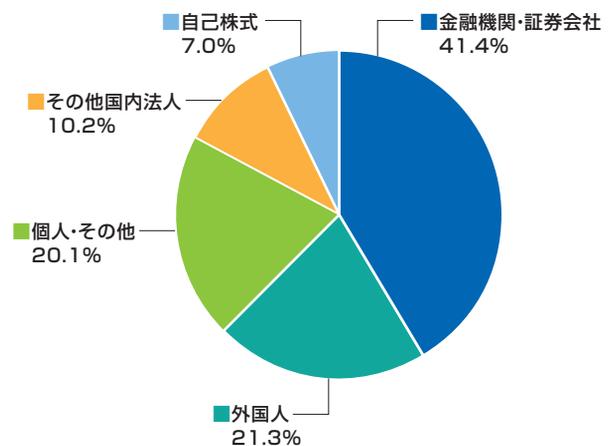
### 株式事務についてのご案内

株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関  
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先  
〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

### 所有者別持株比率

(2015年9月30日現在)



王子ホールディングス株式会社

<http://www.ojiholdings.co.jp>

